

地域レベルでの漁況海況情報の提供事業（概要）

海洋資源科 田井野 清也

1 目的

高知県海域における海況、漁況を調査するとともに、周辺海域の関係機関から情報を収集し、漁海況速報として漁業関係者等に広報する。あわせて本県の主要漁獲対象魚種であるイワシ類、マアジ、サバ類等の漁況及び海況の長期予報を作成し、広報する。以上のことから水産資源の合理的利用と漁業の効率化を図り、より安定した漁業経営に貢献することを目的とする。

2 方法と結果

（1）調査事業

ア 海洋観測調査（沿岸定線調査）

沿岸定線調査を平成 14 年 4 月から平成 15 年 2 月まで毎月 1 回行った。

イ 沿岸定地水温調査

土佐湾沿岸の 7 地点（柏島、足摺、清水、田野浦、浦ノ内、室戸、甲浦）において水温の観測を行った。さらに、土佐湾に設置された黒牧 12 号（高知沖）、13 号（足摺沖）において自動観測された水温データを収集、整理した。

（2）速報作成・通報業務

ア 漁況聞き取りおよび漁獲統計調査

漁業協同組合（すくも湾、清水、窪津、下ノ加江、大方町、佐賀町、興津、錦浦、宇佐、春野町、手結、安芸、加領郷、室戸、椎名、甲浦）に協力を依頼し、漁獲量を毎週聞き取った。さらに、月別統計資料を収集し、主要魚種別漁協別、主要漁業種類別の漁獲量を整理した。

イ 漁海況速報の発行

毎週 1 回、人工衛星情報等から判断した黒潮の流路、沿岸表面水温の分布状況、漁業協同組合から聞き取った週間の漁獲量、近県（三重県、和歌山県、徳島県、宮崎県）の漁況情報を収集、整理し、漁海況速報として 51 回発行した。

ウ 海洋観測表および海況図の作成・通報

海洋観測調査により得られた観測結果を海洋観測表としてとりまとめるとともに、水温、塩分、透明度、流向・流速の水平分布図を作成した。

エ モジャコ漁期漁海況図の作成・通報

モジャコ漁期（平成 14 年 4 月～5 月）における黒潮流軸、小蛇行の状況、黒潮域および土佐湾の水温情報を人工衛星海水温情報（平成 14 モジャコ期臨時号）として 3 回作成し、関係漁業組合へファックスで通報した。

オ 黒牧ブイ海況情報テレホンサービスの提供

電話応答装置により黒牧 12 号、13 号での水温、風向、風速、潮向、潮速の情報を提供した。

本年度の当サービスの利用回数は 138,667 回。

カ インターネットを利用した高度漁海況システムの提供

黒潮牧場ブイ情報、海水温情報、漁海況情報（漁海況速報、漁況の概況、長期予報）、市況情報、気象情報、泊地情報などを掲載したホームページ（<http://www.suisan.tosa.net-kochi.gr.jp/>）を作成し、定期的に情報を更新した。なお、一部の情報は登録された会員（会員登録は高知県内に在住する個人・法人に限る）に限定して提供している。平成 15 年 3 月 31 日までの会員登録数は 237 名、本年度の当ホームページへのアクセス回数は 83,278 回。

（3）予報作成業務

ア 漁海況長期予報の発行

水産研究所および関係各県による太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報会議で検討した内容を基に、上半期（1～6 月）と下半期（7～12 月）の漁海況の経過を整理し、次半期の予想を行った。作成した長期予報は関係機関に郵送し、ホームページ（高知県漁海況システム）に掲載し公表した。

なお、海洋観測、沿岸定地水温の調査結果、漁海況速報、漁獲統計については、平成 14 年度漁況・海況予報事業報告書に示した。